

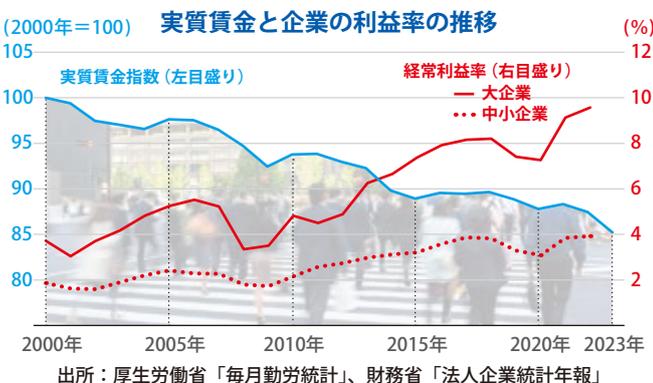
社会民主主義が切り開く “人間らしく”生きられる未来



先 の見えぬ物価高に、上がらない給与。実質賃金は26か月連続でマイナスとなり、国民の6割が生活の苦しさを感じています。

こうした状況に至った背景には、長年に渡って推し進められてきた新自由主義的な経済政策があります。この四半世紀、歴代の政権は「日本経済再生のため」として、企業を儲けさせることに主眼を置いた政策を進めてきました。企業はその恩恵の下、利潤の追求とコストカットに邁進して業績を回復。利益率も大きく向上させています。

その一方で犠牲にされてきたのが、私たちの暮らしです。全雇用の2割程度だった非正規労働は4割まで拡大し、深刻な格差が広がりました。税制の面でも、企業が支払う法人税は1987年から9回に渡って引き下げられる一方、国民が負担する消費税は税率アップが繰り返され、家計を圧迫しています。



こ うした政策を進める根拠とされたのが「大企業や富裕層が先行して豊かになれば、やがてその富が国民全体にまで波及する」とする経済理論です。しかし今年1月、岸田首相はこうした流れが実際には起きていないことを認めました。それにもかかわらず肝心の政策は一向に軌道修正されません。これは今の自公政権には、新自由主義に代わる新たなアイデアが存在していないことを物語っています。

この行き詰まりを打開するためには、政治の担い手を交代し、新しい理念に基づいた政策を実行していく必要があります。その時に鍵を握るのが、社会の公正や連帯を掲げてきた「社会民主主義」です。

社 会民主主義は、企業ではなく人を、金儲けではなく生活向上を、競争ではなく支えあいを大切にする考え方です。格差や差別をなくし、社会保障を充実させて、弱い立場の人でも不安なく生きられる社会を実現します。つまり「人間が人間らしく生きられる未来」を切り開くのが社会民主主義なのです。

欧州では、14年ぶりの政権交代を果たしたイギリスの労働党や、シュルツ首相のドイツ社会民主党など、社会民主主義を掲げる政党が、現実的な選択肢として国民に選ばれ、政治を担っています。

私たち「社民党」も、社会民主主義を理念に掲げる国内唯一の国政政党として、日本の未来に希望を取り戻すために全力で取り組んでいきます。

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局

〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17マルキ樓本ビル5F
電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3203
●定価185円 ●1ヵ月720円 ●送料168円

2024年夏季号外(東京版)

社民党7ポータル大募集!

社民党の考え方を
もっと知りたいと
思ってください方
大募集中です!



社会新報

THE SHAKAI SHIMPO

2027年には
11兆円!

軍拡NO!税金はくらしに



今、岸田政権は猛烈な勢いで軍拡を進めています。2022年に閣議決定した「防衛力整備計画」では、5年間で軍事費を倍にする方針が定められました。それまで毎年5兆円程度で推移してきた防衛予算が2027年には関連経費も含めて11兆円まで増額される予定です。

政府は、これらの予算で敵基地攻撃能力を備えたミサイルの配備などを進めるとしています。しかし急激な軍備拡大は近隣の国々に不信感を与え、むしろ危険な緊張状態を生み出しかねません。

社民党は軍備増強ではなく、外交努力によって東アジアの平和を実現していくことを訴えるとともに、大切な税金は国民のくらしの充実のために使うべきと主張しています。

11兆円をくらしに
使えば出来ること

5000億円
あれば...



小・中学校給食無償化

子どもたちの健やかな成長を育む学校給食。今は自治体ごとに行われている無償化の取り組みも、5千億円あれば全国の小・中学校で実施できます。

1兆円
あれば...



給付型奨学金への転換

大学を卒業し社会に出る若者にとって、返済義務が大きな負担となる貸与型奨学金。1兆円あれば全てを返済不要の給付型奨学金に転換できます。

2兆円
あれば...



介護従事者の処遇改善

全産業平均に比べて月7万円近く安い介護従事者の平均賃金。処遇改善に2兆円を当てられれば、全産業並みの水準まで引き上げられます。

7兆円
あれば...



「暮らせる年金」の回復

物価が上がっても年金が上がらない「マクロ経済スライド」の仕組みを廃止して、年金が本来持つ生活を支える役割を回復できます。

弱い者の側に立ち 支えあいの社会へ

社民党東京都連合政策委員長

桜井夏来 さくらい なつき



【略歴】 1974年 東京都武蔵野市生まれ / 76年～88年 家族の海外勤務に伴いフィジー・ペルー・マレーシアで育つ / 93年 桐朋高校卒業 / 97年 沖縄大学中退・ソフト会社勤務 / 2001年 衆議院議員川田悦子秘書 / 07年 武蔵野市市民協働サロンスタッフ / 21年 武蔵野市議会議員当選(1期) / 24年 社民党東京都連合政策委員長就任 / 現在 福祉の仕事に携わりながら、様々な市民活動に取り組む 【家族】 妻と子ども3人、ネコ2匹 【趣味】 子どもたちと遊ぶこと、料理

社民党は衆院選比例代表東京ブロック公認候補として桜井夏来を内定しました